令和6年度 安平町社会福祉協議会

事 業 報 告 書

1. 令和6年度事業活動の総括

令和6年度は、「思いやりと、誰もが安心して暮らせる「福祉のまち」あびら」のテーマのもと、下記の重点項目を中心に、地域福祉の推進に取り組んで参りました。

地域活動においては、新型コロナウィルス感染症による活動制限がほとんど解消され、 多くの団体で従前の活動に戻ったことから、自治会・町内会と協力した地域の見守り活動や地域のサロン活動、老人クラブなどに職員を派遣し、人と人がつながり生き生きと暮らせる地域づくりを推進して参りました。

また、成年後見制度を必要とする人が安心して制度を利用できるよう、地域住民と協力して支援体制の充実に努めたほか、生活困窮者に対する訪問活動など、困難を抱える 方が制度の狭間に陥ることが無いよう積極的な取組を推進して参りました。

重点項目

(1) 小地域ネットワーク機能の充実強化

今年度は、福祉協力員が配置されている全 29 地区中 24 地区で地域ミーティングを開催し、地域の関係者と情報や地域課題の共有を行うことができ、顔が見える関係を構築することができました。

一部地域で日程の調整が付かない地域がありましたが、年度をまたぎ、ミーティング の実施を予定しております。

ミーティングで共有された情報は、地区ごとに高齢者名簿や地図、フェイスシートと して整理し、災害時の要援護者の安否確認活動等に迅速に活用できるよう、整備を行い ました。

(2) 住民主体の通いの場の支援

住民が主体的に健康作りに取り組むシルバーリハビリ体操の普及に向け、体験会を実施し、多くの住民の方々に参加していただき、次年度以降の具体的な展開につなげることができました。

また、サロン活動やふまねっと運動、オレンジカフェなどの既存の活動についても、 定期的に生活支援コーディネーターを派遣したほか、他団体と連携を支援し、活動の活 性化を図りました。

(3) ボランティアセンター登録制度の推進

気軽にボランティア活動を体験してもらうことを目的にボランティア体験プログラム を実施するなど、ボランティア活動の普及に取り組みました。

また、ボランティアセンター公式LINEの登録者数も 158 名を超え、着実に登録者

数を伸ばし、地域活動の様子、ボランティア募集、研修案内などの情報発信を活発に行いました。

(4) 制度の狭間にある方の相談・支援機能の強化

新型コロナ特例緊急小口資金等の償還が困難な世帯などに対しアウトリーチにより困りごとなどを聞き取り、孤立や課題が深刻化しないよう継続して見守り支援を行いました。

(5) 法人後見事業等の推進

職員が直接被成年後見人等の方々の支援を行った他、成年後見制度を持続可能な仕組みとするため、市民後見支援員、生活支援員を育成し、活動を支援して参りました。

また、成年後見制度や日常生活自立支援事業を利用できない方に対し、独自事業として柔軟な対応を行い、制度の狭間に陥る方がいないよう支援して参りました。

2. 法 人 本 部

(1)法人運営事業

1) 社会福祉協議会の組織体制強化

実践項目・目的	活動内容	
1.地域に根ざした組織体制の	①理事会執行体制の充実・強化	
確保	• 会議運営	
	・令和5年度事業報・令和5年度計算書	類及び財産目録の承認について 員給与規程の一部改正
	•総合職正規職員給	分単価及び対象者の決定について 与規程の一部改正について 支補正予算(第1号)について
	・育児・介護休業等・給食サービス事業・令和7年度事業計・令和7年度資金収	部改正について 則の一部改正について に関する規程の改正について 実施要綱の改正について 画について 支予算について 険契約の締結について
	②評議員会の開催	
	6/27 第1回評議員会 ・令和5年度事業報	
	1/16 第 2 回評議員会(書 ・令和 6 年度資金収	青面開催) 支補正予算(第1号)について

	3/28 第 3 回評議員会 評議員 12 名 ・ 令和 7 年度事業計画について ・ 令和 7 年度資金収支予算について
	③評議員選任解任委員会 開催なし
	④法人監査の実施 (内部監査) 5/22 平成 5 年度第 4 四半期・決算監査 7/16 令和 6 年度第 1 四半期監査 10/21 令和 6 年度第 2 四半期監査 1/27 令和 6 年度第 3 四半期監査
	⑤事務局体制の強化7/22, 31, 8/23, 30, 9/12, 20 (オンライン研修)生活支援コーディネーター養成研修 延べ6名7/23 胆振社協職員連協総会・研修 2名10/31 胆振会長・局長会議・研修 1名
2. 財政運営の強化	①住民会員制度の充実 ・普通会費 2390 件 1, 193, 038 円 (前年 2, 395 件 1, 196, 350 円) ・賛助会費 128 件 196, 000 円 (前年 145 件 219, 000 円) ・特別会費 60 件 710, 000 円 (前年 61 件 720, 000 円)
	②基金・積立金の積立・活用 財政安定化のため各基金・積立金の積立、活用をした。 ・法人運営基金 17,312,475円(前年比2,816,578円の減) ・福祉事業振興基金 35,496,307円(前年比900,390円の増) ・地域福祉推進積立金 523,148円(前年比増減なし) ・居宅介護事業安定化積立金(居宅介護事業の欄に記載) ・居宅介護事業車両等購入積立金(")
	③寄付金 ・法人運営基金へ 2件 60,000円 ・福祉事業振興基金へ 50件 899,892円 ・その他 2件 80,106円 ・物品 27件 (点字広報等)
3. 関係機関との連携	・行政、自治会、町内会、民生委員児童委員との連携を密にし、連絡調整 ・福祉団体への助成、協力 ・福祉施設との協力(行事への後援、ボランティア紹介等) ・NPO法人等との連携 ・町地域福祉総合検討推進会議への参加(役員1名) ・町要保護児童対策地域協議会への参加(役員1名) ・安平町移住定住協議会への委員派遣(職員1名) ・安平町未来創生委員会への委員派遣(職員1名) ・安平町中史編纂委員会への委員派遣(職員1名) ・安平町教育まちづくり委員会へ委員派遣(職員1名) ・安平町教育まちづくり委員会へ委員派遣(職員1名) ・母来子ども園学校運営協議会への委員派遣(職員1名) ・福)追分あけぼの会へ評議員派遣(職員1名) ・福)富門華会へ評議員派遣(職員1名) ・福)富門華会へ評議員派遣(職員1名) ・本るさとおいわけ・華たば運営推進会議へ委員派遣(職員1名) ・早来陽光苑運営推進会議へ委員派遣(職員1名) ・中来陽光苑運営推進会議へ委員派遣(職員1名)
4. 広報活動の充実	①社協だよりの発行

(共同募金助成事業)	年 6 回発行(4 月・6 月・8 月・10 月・12 月・2 月)
	②ホームページによる法人情報の開示
	•URL http://www.abirashakyo.org/
	③イベントでの啓発活動
	7/6 うまか祭り出店(社協・共募の啓発)
	8/3、4 道の駅イベント出店 (〃)
	8/24 遠浅グリーンフェスティバル出店(〃)
5. 共同募金会への協力	○安平町共同募金委員会事業の推進
	・赤い羽根共同募金 10月
	・歳末たすけあい募金 12月
6. 会員の弔意	・会員(住民)の不幸に際し供物等の贈呈

(2)地域福祉事業

1) たすけあいの町づくりの推進

1) たすけあいの町づくりの推進	
活動内容	
グループワーク ②地域ミーティング 地域住民、関係機関との連携、情報の共有及び個別の地域課題の協議等を目的に開催。 ※開催状況は別記 ③その他の会議 ・9/17 ケアマネ情報交換会 ④地域の助け合い活動・交流活動のためのアンケート調査・なし ⑤高齢者のための暮らしのガイドブック作成ケアマネ等を通じ配布	

②小地域ネットワーク事業の 推進

- ・小地域ネット交付金の交付 25 自治会・町内会

(共同募金助成事業)

- ・住民同士が助け合える地域の 仕組みづくりを推進する
- ・ひとり暮らし高齢者の孤独死 など地域の課題を解決する
- ○地域ミーティングの実施
- · 8/28 追分第一町内会 10 名

・福祉協力員の委嘱 (29 地区 94 名)

- 9/3 あかね自治会 9名
- 9/10 北進自治会 10 名 ・ 9/18 あけぼの自治会 11 名
- ・10/2 しらかば自治会 8名
- ·10/9 追分本町町内会 10名
- 10/31 北町自治会 11 名
- ・10/16 追分第四町内会 13 名
- ・11/15 ときわ自治会 10 名
- · 10/22 花園町内会 15 名
- ・12/11 青葉町内会 15 名
- 1/28 さかえ自治会 11名
- · 12/3 安平第 1 自治会 19名
- 2/28 美園自治会 8名
- ·12/17 遠浅自治会 13名
- · 2/5 若草町内会 17名
- · 2/13 新栄第1自治会 9名
- · 3/12 旭陽農事組合 11 名
- · 2/19 東早来自治会 8名
- · 2/27 明春辺農事組合 10名
- 2/10 緑丘自治会 11名
- · 3/27 瑞穂自治会 12名 · 3/10 東遠浅自治会 6名
- 3/28 富岡自治会 8名

(未実施 豊栄町内会・守田自治会・安平第2自治会・安 平第3自治会·酪農自治会)

- ○要援護者名簿等の整備
- ・自治会町内会ごとに名簿、地図、関係者名簿を整備
- ○見守り情報連絡票の配布
- ・認知症高齢者等に関する情報提供
- ○救急医療情報キットの普及
- 利用者 646 名
- ○鍵の預りサービス
 - 利用者 28 名
 - 鍵の保管施設 グループホームふるさとおいわけ・グ

ループホーム安平の郷・グループホー

ムさかえ

・協力事業所 安平町役場・サックル介護保険相談

所・安平の郷・追分陽光苑居宅介護支

援事業所・消防・警察

③住民主体の通いの場の支援

- ○ふまねっと運動の普及
- ・実施地区 ときわ・さかえ・遠浅・北町
- ・継続的な活動支援の為の職員派遣 ※その他の地区では不定期に実施。
- ・9/20 ふまねっとサポーター養成講座 3名
- ・3/25 ふまねっと交流会の開催 (チェアヨガ) 25 名
- ○既存のサロン活動の支援
- ・通いの場ガイドブックの作成・配布
- ・通いの場への訪問・取材し社協だよりに掲載

	・行事用遊具等の貸出	
	・医療機関との連携による通いの場チ	ラシの掲示 配布
	四次100円に77年1万による地(77分)	~ ▲ ▲ > 1,00/1,
	○出張サロンの実施	
	・北進サロン 毎月1回	
	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
	○介護予防塾の開催	
	「シルバーリハビリ体操」 苫小牧東	〔病院 森田氏
	・3/4 ぬくもりセンター 49名	
	・3/11 遠浅公民館 29名	
	○コミュニケーション麻雀の普及	
	・北町自治会	
	│○行事用遊具の貸与	
	・スロットボール 延々	べ貸出数 台
	・室内用ボーリング	// 15 台
	・フロアカーリング	
		" 1台
	輪投げ	リ 2 台
	・ストライクナイン	〃 14 台
	・台風ドカン	リ 6 台
	・思い出カルタ	" 0台
	・百人一首	" 0台
	・ジャンボトランプ	<i>"</i> 4台
	・ビンゴゲーム	ッ 6 台
	・バスケットビンゴ	が 5台
	・チャレンジサッカーゴール	ッ 3台
	・ルーレットゴルフ	" 2台
	・ふまねっと	" 1台
	・千本釣り	リ 4台
	・ポータブルスピーカー	ッ 0 台
	・プロジェクター	リ 2 台
	・ジャンボボーリング	" 1台
	・ダルマ落とし	
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	" 10台
	• 射的	" 6台
	・回転ボード	リ 4台
	・早押しボタン	リ 2 台
	マナー豆	" 2台
	・ダーツ	1 4台
	・ジャンボオセロ	
	1	" 2台
	・モルック	<i>"</i> 6台
④関係団体とのネットワーク	○NPO 法人等情報共有会議の運営協力	
拡充	・参加団体 11団体	
1)ムノロ		h who while and a second
	(NPO 法人ココ・カラ、NPO 法人とあされ	
	もの遊び場づくりネットワーク、NPO法人	
	NPO 法人ポラーナ、NPO 法人生活支援の会	
	ュニティシンクタンクいんくるらぼ、ハッ	
	人 ENTRANCE、ABIRA DE LIGHT、安平町社	会福祉協議会)
	・メールによる情報共有 助成金情報	と、団体イベント等
	114 1645 4 14	
Ī		

2) 福祉サービスの充実

実践項目・目的	活動内容
1. 支援が必要な方へのサービ	
スの実施	(早来地区)
①給食サービスの充実	・実施回数 年間 42 回
	※毎週水曜日(8月・祝日を除く)に実施

・給食ボランティア 32名 (共同募金助成事業) ・運転ボランティア 13名 (追分地区) • 実施回数 年間 46 回 ・利用者 延べ 935名(1回当たり平均20.3名) ・給食ボランティア 25 名 ・運転ボランティア7名 ②生活支援サービスの実施 ○生活支援サービス 1) 傾聴ボランティア 3 名 ・ボランティア 5名 延べ40回 · 個別傾聴 利用者 ・グループ傾聴(コロナウィルス予防のため休止) ・視覚障がい者介助 利用者 1名 スポーツセンター 9回 散歩 16 回 2) 軽作業(裾直し・繕い物) 3名 延べ4回 ③福祉団体の活動支援 ○福祉団体への助成 子ども会 · 更生保護女性会 (共同募金助成事業) • 母子会 手をつなぐ育成会 ○団体貸出(セレナ) (共同募金助成車両) ④ 車両貸出事業 ・貸出件数 1件 (共同募金助成事業) ○個人貸出(車イス対応車) ・貸出件数 タント 13件 ⑤歳末たすけあい事業の実 ○歳末たすけあい見舞金の贈呈 時期 12月24日~31日 施 対 象 ・児童生徒(準要保護・ひとり親) 23世帯 46名 介護者 17名 (共同募金助成事業) ・人工透析患者 7名 ・その他(低所得世帯) 5世帯 協 力 地区担当民生委員により見舞金の贈呈 ○おせち料理配布 時期 12月30日 対 象 ひとり暮らし高齢者 4世帯 ○歳末たすけあい燃料費支給事業 時 期 12月24日~31日 対 象 ・児童生徒(準要保護・ひとり親) 23世帯 その他 5世帯 ⑥物品貸与事業 ○各種福祉用具の貸与 ・車イス 延べ貸出数 47 台 ・ポータブルトイレ 12 台]] ・シルバーカー IJ 0台 · 歩行車 · 歩行器 24 台 手すり IJ 18 台 トイレの手すり 0台 IJ IJ 7台 シャワー椅子 9台 入浴用手すり 11 台

・利用者 延べ 1480名(1回当たり平均35.2名)

	・浴槽台 ・入浴用滑り止めマット ・バスボード ・シャワーキャリー ・助聴器 ・スロープ	11 11 11 11 11	7 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 5
2. 高齢者等の生きがいづくり	○老人クラブ連合会事業の推進		
①老人クラブ活動の支援	・老人クラブ連合会への活動費・6/26 胆振東部老連研修		16 名
(共同募金助成事業)	 ・9/27 パークゴルフ大会 ・10/9 町老連研修旅行 ・11/7~8 胆振地区リーダー研修 ・11/22 町老連研修大会 ・1/25 長寿祝い金事業 ・3/20 老連PR広報 	•	28名 31名 7名 141名 65名 全戸配布
②高齢者生きがいづくり事 業の実施	 ○安平町高齢者生き生き事業の第・7/28 高齢者スポーツ大・10/20 高齢芸能発表会 ○かしわ館の活用業務福祉団体等 ○生きがいづくり活動への助成陶芸サークル 		136 名 182 名
③ひとり暮らし高齢者交流 事業の実施 (休止)④おじいちゃんの料理教室 の実施 (休止)			

3) ボランティアセンターの活性化

実践項目・目的	活動内容
1. ボランティアセンターの運営 ①運営委員会の開催	○委員会の開催 なし
②基本業務	 ○登録の募集・受付 ○ニーズ調査 ○ボランティア活動保険の受付 ・加入者数 421名 (前年 415 名) ・事故件数 0件 (前年 1件) ○他町村との連携 胆振地区ボランティア連絡協議会への加入
2. ボランティア活動の支援①ボランティア団体の強化 育成	○団体への助成・安平町「共に歩む会」・点訳赤十字奉仕団○各種団体への助言、協力
②学童・生徒のボランティア	○町内各学校へ助成金を交付

活動支援	・追分小・追分中
③ボランティア活動の推進	○ボランティア活動助成金 ・読み聞かせボランティア ・安平町民の笑顔を生みだす・結 ・子育てサポーターの会ありす ・安平町認知症サポーターの会
④広報によるボランティアの普及	○社協だよりによるボランティア団体の紹介・募集
⑤ボランティア活動の相談、調整	○ボランティア活動の調整
⑥ボランティアセンター公 式 LINE の運営	○ボランティアセンター公式LINEを開設・住民活動の取材・広報・登録者数 158 名(前年 141 名)
⑦活動場所の確保	・かしわ館・追分支所会議室をボランティアミーティング スペースとして活用
3. ボランティア活動の担い手 づくりの取り組み	
①ボランティアの裾野の拡大	ボランティア体験プログラム ・実施期間 7/13~8/31 ・プログラム数 12 プログラム ・参加者 9 プログラム 延べ11 名
②ボランティア研修	○全道研修の参加・ボランティア愛ランド北海道 IN えべつ 14 名○管内研修の参加・ボランティアばんざい IN いぶり 壮瞥町 4名
③傾聴ボランティア養成研修	参加者なし
④給食ボランティア・運転ボ ランティアの育成	 ・2/13 早来給食ボランティア連絡会議 ・2/18 早来運転ボランティア連絡会議 ・2/14 追分給食ボランティア連絡会議 ・2/17 追分運転ボランティア連絡会議
4. 防災体制の整備	
①災害ボランティアセンタ 一運営体制の整備	・9/9 災害ボランティアセンター設置訓練 ・災害ボランティアセンター運営マニュアルの点検 ・災害用ホームページの整備
②連携体制の構築	・9/4 早来陽光苑合同防災訓練 ・1/22 札幌市災害ボラセン運営者研修講師派遣

4) 地域活動 (コミュニティ活動) の推進

実践項目・目的	活動内容
①地域の環境美化運動	(追分地区)
	○花いっぱい運動の推進
	・助成金の交付
	・4/18 花いっぱい運動実行委員会

	・5/25 フラワーデー実施
②コミュニティ運動の推進	①追分地区町内会連合会事業の推進 ・5/24 町内会連合会総会 ・9/13 町内会連合会臨時総会
	・10/15 町内会連合会パークゴルフ大会 24 名②リサイクル運動・リングプルの回収 59 件 74kg
③住民交流活動の支援	・イベント物品の貸出・大判プリンターの活用

5) 心配ごと相談所機能の強化とサービス利用者の権利擁護

実践項目・目的	活動内容	
1. 心配ごと相談所機能の充実 ①相談者の利便性向上の取り組み 2生活福祉資金の利用促進	 ・相談件数 生活費の相談 72 件 その他の相談 52 件 ・家計相談支援 8 件 ・アウトリーチ活動 49 件 ・支援物資提供 70 件 ・生活就労サポートセンターいぶりとの連携 ・社協だよりによる広報 	
(道社協委託)	・3 月末借受人 教育支援資金 2 件 福祉資金 1 件 離職者支援資金 2 件 緊急小口資金 17 件 (うちコロナ特例 8 件) コロナ特例総合支援資金 9 件	
2. 福祉サービス利用者の権利 擁護		
①日常生活自立支援事業の 利用促進 (道社協委託事業)	・利用者 6名・生活支援員 4名	
②法人後見事業の実施	・受任件数 4件・成年後見支援員 2名	
③日常的金銭管理支援事業	・利用者 2名・生活支援員 1名	

(3)たすけあい金庫貸付事業

実践項目・目的	活動内容
①たすけあい金庫の利用促	・低所得者へ生活資金の貸付を実施
進	21 件 433,000 円
	・3/31 現在貸付残高 31 件 821,000 円

3. ホームヘルパーセンター

(1)訪問介護事業

実践項目・目的 1. 運営体制 ①事業者指定の状況 ②運営状況	(事業所名・介護保隆・障害者総・生活保証・通常日時	食法 合支援法 護法	T社協ホー 訪問介詞 1 号訪問 居宅介詞	サービス 隻		
②運営状況				Z/I/X/I/XI		
	Æ II II II		年中無何	k 宇 30 分~	午後 5 時	15分
③職員体制	管理者(兼務)訪問介護員前年度末10名採用退職0名3月末 10名					
	○月別訪問	まり 注目 月	、数			
	77777777	常			営勤	اج ۸
		介福士	初任者	介福士	初任者	合計
	4月	2名	0名	5名	3名	10名
	5月	2名	0名	5名	3名	10名
	6月	2名	0名	5名	3名	10名
	7月	2名	0名	5名	3名	10名
	8月	2名	0名	5名	3名	10名
	9月	2名	0名	5名	3名	10名
	10月	2名	0名	5名	3名	10名
	11月	2名	0名	5名	3名	10名
	12月	2名	0名	5名	3名	10名
	1月	2名	0名	5名	3名	10名
	2月	2名	0名	5名	3名	10名
	3月	2名	0名	5名	3名	10名
	月平均 ※非常勤耶	2名		5名	3名	10名

①訪問介護(介護保険)

要介護に認定された利用者へ訪問介護サービスを提供。

1)介護度別利用者延べ人数

介護度	R5 年度	R6 年度	対比
要介護 1	159名	152名	-4%
要介護 2	129名	94名	-27%
要介護3	26 名	16名	-38%
要介護4	29 名	11名	-62%
要介護 5	27名	14名	-48%
合計	370名	287 名	-22%

2) 月別利用者数

— / / 4 / 3 4 T 4/ T4 II /	·/·		
	R5 年度	R6 年度	対比
4月	38名	24 名	-37%
5月	37名	24名	-35%
6 月	33名	25 名	-24%
7月	36名	24名	-33%
8月	31名	25 名	-19%
9月	29 名	26 名	-10%
10 月	30名	23 名	-23%
11 月	30名	24 名	-20%
12 月	29 名	23 名	-21%
1月	27名	23名	-15%
2月	25 名	23名	-8%
3月	25 名	23 名	-8%
合計	370名	287 名	-22%

	R5 年度	R6 年度	対比
4 月	394 時間	324 時間	-18%
5月	406 時間	327 時間	-19%
6 月	399 時間	309 時間	-23%
7月	404 時間	337 時間	-17%
8月	416 時間	340 時間	-18%
9月	395 時間	345 時間	-13%
10 月	405 時間	347 時間	-14%
11 月	395 時間	332 時間	-16%
12 月	400 時間	313 時間	-22%
1月	352 時間	339 時間	-4%
2月	356 時間	320 時間	-10%
3 月	351 時間	332 時間	-5%
合計	4673 時間	3965 時間	-15%

業)

②1号訪問サービス(総合事 | 要支援等に認定された利用者へ訪問介護サービスを提 供。

1) 介護度別利用者延べ人数

介護度	R5 年度	R6 年度	対比
事業対象者	0名	0名	0%
要支援1	133名	125 名	-6%
要支援2	158名	132名	-16%
合計	291 名	257 名	-13%

2) 月別利用者数

	R5 年度	R6 年度	対比
4月	24 名	23名	-4%
5月	24 名	23名	-4%
6月	24 名	20名	-17%
7月	24 名	20名	-17%
8月	24 名	20名	-17%
9月	24 名	20名	-17%
10 月	25 名	21名	-16%
11 月	24 名	22名	-8%
12 月	24 名	23名	-4%
1月	24 名	22 名	-8%
2 月	24 名	22 名	-8%
3 月	26 名	21名	-19%
合計	291 名	257 名	-12%

	R5 年度	R6 年度	対比
4月	146 時間	162 時間	11%
5月	164 時間	154 時間	-6%
6月	159 時間	126 時間	-21%
7月	144 時間	139 時間	-3%
8月	152 時間	119 時間	-22%
9月	142 時間	130 時間	-8%
10 月	154 時間	146 時間	-5%
11 月	149 時間	140 時間	-6%
12 月	160 時間	144 時間	-10%
1月	155 時間	129 時間	-17%
2月	159 時間	131 時間	-18%
3月	160 時間	141 時間	-12%
合計	1844 時間	1661 時間	-10%

③障がい福祉サービス

障がい福祉サービス支給決定された利用者へ居宅介護 サービスを提供。

1) 障がい別利用者延べ人数

介護度	R5 年度	R6 年度	対比
身体障害	0名	0名	0%
知的障害	12名	17名	42%
精神障害	0名	0名	0%
障害児	0名	0名	0%
合計	12名	17 名	29%

2) 月別利用者数

月	R5 年度	R6 年度	対比
4月	1名	1名	0%
5月	1名	1名	0%
6月	1名	1名	0%
7月	1名	1名	0%
8月	1名	1名	0%
9月	1名	1名	0%
10 月	1名	1名	0%
11 月	1名	2名	100%
12 月	1名	2名	100%
1月	1名	2名	100%
2月	1名	2名	100%
3月	1名	2名	100%
合計	12 名	17 名	42%

月	R5 年度	R6 年度	対比
4月	9 時間	7 時間	-22%
5月	9 時間	9 時間	0%
6月	11 時間	7 時間	-36%
7月	7 時間	8 時間	14%
8月	9 時間	7 時間	-22%
9月	7 時間	7 時間	0%
10 月	7 時間	9 時間	29%
11 月	9 時間	9 時間	0%
12月	7 時間	20 時間	186%
1月	6 時間	18 時間	200%
2月	8 時間	19 時間	138%
3 月	7 時間	19 時間	171%
合計	96 時間	139 時間	45%

3. サービス管理体制の整備	・責任者会議 6回 ・感染予防委員会 2回 ・虐待防止委員会・身体拘束防止委員会 1回 ・運営基準自己点検の実施			
4. 感染症予防対策の強化	・予防衣、フェイスシールド等資材の整備・インフルエンザ予防接種・消毒用アルコール等の携帯			
5. 訪問介護員の質の向上の取り組み ①外部研修への参加	・なし			
②職場内研修の実施	・定例研修 4/23 業務指針の理解 調理研修(献立づくり) 5/21 調理実習 6/18 食中毒予防について 7/28 倫理・法令遵守 8/20 業務継続計画(BCP) 9/17 認知症ケア 10/22 虐待防止・身体拘束防止 11/19 感染症予防対策 12/24 事故防止・ヒヤリハット 1/21 事故発生時の緊急時対応 2/18 自己評価 3/18 ケース検討会「おむつ交換・身体介護のコツ ・E ラーニングの実施			
③資格取得の促進	 ・介護職員実務者研修費用の助成 0名 (職員の資格取得状況) ○介護従事者の資格(3/31 現在実人数 10 名) ・介護福祉士 8名、初任者研 2名 ○介護支援専門員 3名 			
6. サービスの質の向上の取り				
組み ①サービス評価の取り組み	・職員全員により自己評価を実施			
②苦情対応体制の充実	・苦情受付窓口の設置 ・第三者委員の設置(2名委嘱)			
7. 財政運営の安定化 ①居宅介護事業安定化積立 金 ②居宅介護事業車両等購入 積立金	・積立金残額 38,011,794円(増減なし) ・積立金残額 4,403,741円(増減なし)			

4. 追分ホームヘルパーセンター

(1)訪問介護事業

HARDAT II. II. II.			\r =			
<u>実践項目・目的</u> 1. 運営体制	活動内容					
①事業者指定の状況	(事業所名 ・介護保険 ・障害者総 ・生活保証	食法 合支援法	訪問介語 1 号訪問 居宅介語	サービス 隻		
②運営状況	・通常の第・運営日間		年中無何	木 寺 30 分~	午後 5 時	15 分
③職員体制	管理者(清訪問介護員		退職	1名 実末 6名 0名 兼務)1名 1名 末 6名		
	○月別訪問	引介護員丿	人数			
		常	勤	非常	剪勤	合計
		介福士	初任者	介福士	初任者	
	4月	1名	0名	5名	1名	7名
	5月	1名	0名	5名	1名	7名
	6月	1名	0名	5名	1名	7名
	7月	1名	0名	5名	1名	7名
	8月	1名	0名	5名	1名	7名
	9月	1名	0名	4名	1名	6名
	10月	1名	0名	4名	1名	6名
	11月	1名	0名	4名	1名	6名
	12月	1名	0名	4名	1名	6名
	1月	1名	0名	4名	1名	6名
	2月	1名	0名	4名	1名	6名
	3月	1名	0名	4名	1名	6名
	月平均	1名	0名	4.4 名	1名	6.4 名
	※非常勤聯	双貝 2 名与	户米隶務			

2. サービス提供状況

①訪問介護(介護保険)

要介護に認定された利用者へ訪問介護サービスを提供。

1) 介護度別利用者延べ人数

介護度	R5 年度	R6 年度	対比
要介護 1	152名	121名	-20%
要介護 2	55名	46名	-16%
要介護3	8名	3名	-63%
要介護4	6名	8名	33%
要介護 5	2名	0名	-100%
合計	223 名	178名	-20%

2) 月別利用者数

	R5 年度	R6 年度	対比
4 月	20名	16名	-20%
5月	20名	17名	-15%
6 月	20名	17名	-15%
7月	21 名	17名	-19%
8月	21 名	16名	-24%
9月	21 名	15名	-29%
10 月	18名	13名	-28%
11 月	16名	13名	-19%
12 月	18名	13名	-28%
1月	17名	12名	-29%
2月	16名	14名	-13%
3 月	15名	15名	0%
合計	223 名	178名	-20%

	R5 年度	R6 年度	対比
4月	207 時間	217 時間	5%
5月	213 時間	239 時間	12%
6月	209 時間	232 時間	11%
7月	240 時間	216 時間	-10%
8月	246 時間	200 時間	-19%
9月	256 時間	192 時間	-25%
10 月	261 時間	207 時間	-21%
11 月	224 時間	203 時間	-9%
12 月	244 時間	205 時間	-16%
1月	240 時間	190 時間	-21%
2月	218 時間	180 時間	-17%
3 月	225 時間	168 時間	-25%
合計	2783 時間	2449 時間	-12%

②1号訪問サービス(総合事 業)

要支援等に認定された利用者へ訪問介護サービスを提供。

1) 介護度別利用者延べ人数

7 71 10000 0100 1 10		*	
介護度	R5 年度	R6 年度	対比
事業対象者	0名	0名	0%
要支援1	134名	117名	-13%
要支援2	189名	147名	-22%
合計	323 名	264 名	-18%

2) 月別利用者数

□ 1 000 00 00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	×^		
	R5 年度	R6 年度	対比
4月	22名	27 名	23%
5月	23 名	26 名	13%
6月	22名	26 名	18%
7月	25 名	24 名	-4%
8月	28 名	22名	-21%
9月	29 名	19名	-34%
10 月	30名	18名	-40%
11 月	31名	19名	-39%
12 月	29 名	20名	-31%
1月	29 名	20名	-31%
2月	29 名	22名	-24%
3 月	26 名	21 名	-19%
合計	323 名	264 名	-18%

	R5 年度	R6 年度	対比
4月	121 時間	181 時間	50%
5月	138 時間	181 時間	31%
6月	130 時間	156 時間	20%
7月	165 時間	169 時間	2%
8月	187 時間	165 時間	-12%
9月	181 時間	139 時間	-23%
10 月	191 時間	146 時間	-24%
11 月	195 時間	143 時間	-27%
12月	179 時間	153 時間	-15%
1月	196 時間	149 時間	-24%
2月	180 時間	143 時間	-21%
3月	172 時間	141 時間	-18%
合計	2035 時間	1866 時間	-8%

③障がい福祉サービス

障がい福祉サービス支給決定された利用者へ居宅介護 サービスを提供。

1) 障がい別利用者延べ人数

介護度	R5 年度	R6 年度	対比
身体障害	15名	12名	-20%
知的障害	0名	0名	0%
精神障害	0名	0名	0%
障害児	0名	0名	0%
合計	15名	12名	-25%

2) 月別利用者数

月	R5 年度	R6 年度	対比
4月	2名	1名	-50%
5月	2名	1名	-50%
6月	2名	1名	-50%
7月	1名	1名	0%
8月	1名	1名	0%
9月	1名	1名	0%
10 月	1名	1名	0%
11 月	1名	1名	0%
12月	1名	1名	0%
1月	1名	1名	0%
2月	1名	1名	0%
3 月	1名	1名	0%
合計	15 名	12 名	-20%

月	R5 年度	R6 年度	対比
4月	76 時間	41 時間	-46%
5月	82 時間	27 時間	-67%
6月	77 時間	29 時間	-62%
7月	43 時間	27 時間	-37%
8月	41 時間	29 時間	-29%
9月	39 時間	29 時間	-26%
10 月	42 時間	26 時間	-38%
11 月	40 時間	25 時間	-38%
12 月	42 時間	25 時間	-40%
1月	42 時間	23 時間	-45%
2月	40 時間	22 時間	-45%
3月	43 時間	26 時間	-40%
合計	607 時間	329 時間	-46%

3. サービス管理体制の整備 4. 感染症予防対策の強化	 ・責任者会議 6回 ・感染予防委員会 2回 ・虐待防止委員会・身体拘束防止委員会 1回 ・運営基準自己点検の実施 ・予防衣、フェイスシールド等資材の整備 ・インフルエンザ予防接種 ・消毒用アルコール等の携帯
5. 訪問介護員の質の向上の取り組み	
①外部研修への参加	・外部研修は参加見合わせ
②職場内研修の実施	・定例研修 4/26 プライバシー保護について 5/23 調理支援につい 6/25 食中毒予防について 7/29 法令遵守・倫理観について 8/29 業務継続研修 9/24 認知症のケア 10/28 虐待防止・身体拘束禁止について 11/28 感染予防について 12/17 介護事故のその後を考える 1/27 事故発生等緊急対応 2/26 事故評価集計結果の検討 3/27 ケース検討会 ・e ラーニングの実施
③資格取得の促進	(職員の資格取得状況) ○介護従事者の資格(3/31 現在実人数 5 名) ・介護福祉士 4 名、初任者研修 1 名
6. サービスの質の向上の取り 組み	
①サービス評価の取り組み	・職員全員により自己評価を実施
②苦情対応体制の充実	・苦情受付窓口の設置 ・第三者委員の設置(2名委嘱)

(2)移送事業

実践項目	目的・活動内容
①通院移送車運行事業の実施	公共交通機関等で通院が困難な透析患者等を町外の医療機関へ移送し、通院を支援。
施(町委託)	年間延べ 352名
②外出支援サービスの実施	要介護者等の外出を支援するため、車両による外出の支援。
(町委託)	年間延べ 723名